

国立大学法人東海国立大学機構 (財務レポート2022を発行)

【概要】

東海国立大学機構では、岐阜大学と名古屋大学の財務状態や経営状況を分かりやすく解説し、両大学の運営・活動を財務の観点から広くご理解いただくことを目的として、「財務レポート」を作成しています。

このたび、文部科学大臣により承認を受けた2021（令和3）事業年度財務諸表をもとに「財務レポート2022」を令和4年10月20日に発行しました。

国立大学法人 東海国立大学機構

財務レポート2022

事業年度：2021年4月1日～2022年3月31日

Tokai National Higher Education and Research System
Financial Report 2022



MAKE NEW STANDARDS.
東海国立大学機構

岐阜大学 名古屋大学

1. 国立大学法人東海国立大学機構について

●国立大学法人東海国立大学機構の創設について

世界と日本がつかない規模とスピードで激変していく中で、国立大学法人岐阜大学と国立大学法人名古屋大学は、法策は向けず教育研究機能を持続的に強化し、東海地域の持続的発展に一層貢献するため、2019年4月以降、一法人複数大学による機構設立に向けて協議を重ねてきました。

その後、関係省の賛成からの多大なるご支援により2019年5月24日に「学校教育法の一部を改正する法律」（令和元年法律第11号）が公布され、この法律が施行された2020年4月1日に国立大学法人岐阜大学・国立大学法人名古屋大学は統合し、国立大学法人東海国立大学機構が創設されました。

国立大学法人東海国立大学機構は、大学・産業界・地域の発展の好循環を創出する我が国の新しいモデル、国際的な競争力向上と地域創生への貢献を担うことを目指します。

岐阜大学と名古屋大学の強みのある分野を中心に、世界最高水準の研究を進展することによる知の中間的通用性のある質の高い教育の実現を目指します。

国立大学法人東海国立大学機構の基本情報

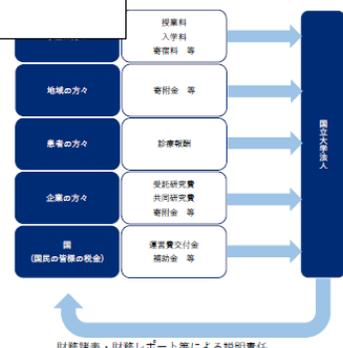
	岐阜大学	名古屋大学
規模	6学部 8研究科 (附属施設併数：614)	9学部 13研究科 (附属施設併数：1,090)
人数	学部学生 5,844人 大学院学生 1,997人 研究生等 163人 附属学校生徒 344人	学部学生 9,525人 大学院学生 6,309人 研究生等 458人 附属学校生徒 595人
職員数	職員 1,121人 (常勤602・非常勤519) 職員 2,008人 (常勤954・非常勤1,054)	職員 2,280人 (常勤1,705・非常勤575) 職員 5,270人 (常勤4,246・非常勤1,024)
規模	延床 6,235,227㎡(床3,202,096㎡(※)) 建物 328,180㎡(床3,354,246㎡(※))	土地 1,627,035㎡(床1,572,985㎡(※)) 建物 809,848㎡(床2,088㎡(※))

※ 2022年4月1日現在

※ 2022年5月1日現在

※ 令和3年度事業報告書ベース（2022年5月1日現在）

2. 財務諸表・財務レポート等による説明責任



投資料
入学料
寄附料 等

地域の方々
寄附金 等

事業者の方々
設備報酬

企業の方々
委託研究費
共同研究費
寄附金 等

国
(国民の皆様の税金)
運営費交付金
補助金 等

国立大学法人東海国立大学機構

財務諸表・財務レポート等による説明責任

※ 財務レポート2022は下記のURLよりダウンロードできます。
<https://www.thers.ac.jp/disclosure/finance/index.html>